



中日新聞東海本社
浜松市東区葉新町45番地
〒435-8555 電話 053(421)7711

しずおかA

2016年(平成28年)
3月25日
(金曜日)

空室対策

サブリースなら!

エイブル

エイブル保証株式会社

0120-355-826
http://www.a-hosho.co.jp

購読申し込みは

0120-454010

スマホで便利
中日新聞プラス
chuplus.jp

CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp

浜松市議会

野球場調査費を削減可決

予算案61年ぶり修正

浜松市議会二月定例会は二十四日、県が西区篠原町に整備を目指す県営野球場に關連し、二〇一六年度予算案に計上した野球場用地の調査費を削減する修正案を賛成多数で可決した。同市議会での当初予算案の修正案可決は旧浜松市時代の一九五五(昭和三十)年以来二度目。県議会はすでに野球場関連事業費を削減する修正案を可決している。■核心③面

鈴木市長「建設を再度、県に要望」

鈴木康友浜松市長は記者団に「大変残念だが、多くの議員が野球場建設には前向きで一致している。心を合わせて再度県に要望していきたい」と述べ、議会に審議のやり直しを求める「再議」は行わないとし、市民に野球場建設の機運が広がっているか問われると、「当然、賛否はあるが、議論が公になることで

市民の認識も変わってくる。啓発活動も進めたい」と前向きにとらえた。

可決された修正案は遠州灘海浜公園事業費約七億二千二百万円のうち、用地調査費二千七百七十万円を削減して予備費に付け替える内容。最大会派の自民党浜松が、野球場の全体像が示されておらず、県と市の役割分担が明確でないことや市民の理解も得られていな

いなどとして提案した。

採決は、賛成が二十九、反対は十五。自民党浜松(十八人)に加え、共産党浜松市議団(五人)と公明党(五人、退席一人)、一人会派の二人が賛成し、第二会派の創造浜松(九人)と市民クラブ(六人)は反対した。鈴木育男議長は記者会見で「野球場がいらな

いという議員はいない。ちよつとずつボタンの位置がずれただけで目指すところは一緒」と指摘。県と市の役割をしっかりと示した上で議論を進めることが大事とし、市議会五月定例会に合わせて特別委員会を設置する意向を示した。

スズキ会長が市議会を非難
野球場の建設を県に要望してきたスズキの鈴木修会

長は二十四日夜、「開いた口がふさがらない」と市議会の対応を非難した。鈴木会長は、市議会の自民党浜松に市が昨年六月から計四回の説明を繰り返していることを強調し「選挙民の意向を聞いた上で反対ならともかく、経緯を知った上で『私は知らなかった』なんて。ふざけている」と怒りをあらわにした。

その上で、スズキが野球場の整備協力費として、浜松市に昨年三月末までに五億円を寄付したのに加え、今月末にも五億円の寄付を予定していたことを明かした。「土地の取得用に寄付したが、そんなに球場が嫌なら、今年の五億円は取りやめるし、去年の五億円も市に返還を求めたい」と語った。

賛成、反対派が白熱討論

県営野球場建設に伴う事業費を削減する修正案が可決された二十四日の浜松市議会では、主要会派による賛成、反対の討論が白熱した。

修正案に賛成の共産党浜松市議団の酒井豊実氏は「建設についての市民の合意ができていないばかりか、建設地が不適切、野球場が必要なのかと批判の声を聞く」と指摘。地震による液状化や津波リスクも大

た上で「私は知らなかった」なんて。ふざけている」と怒りをあらわにした。その上で、スズキが野球場の整備協力費として、浜松市に昨年三月末までに五億円を寄付したのに加え、今月末にも五億円の寄付を予定していたことを明かした。「土地の取得用に寄付したが、そんなに球場が嫌なら、今年の五億円は取りやめるし、去年の五億円も市に返還を求めたい」と語った。